



2024年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年6月14日

上場会社名 Link-Uグループ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4446 URL <https://link-u.group/>
代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 松原 裕樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ管理統括 (氏名) 藤田 貴弘 TEL 03 (6260) 9279
四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第3四半期の連結業績（2023年8月1日～2024年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第3四半期	2,436	4.4	241	△33.0	259	△19.3	191	43.3
2023年7月期第3四半期	2,333	42.9	360	146.1	321	150.2	133	80.8

(注) 包括利益 2024年7月期第3四半期 208百万円 (61.2%) 2023年7月期第3四半期 129百万円 (69.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第3四半期	13.53	13.47
2023年7月期第3四半期	9.46	9.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第3四半期	4,171	2,579	59.2
2023年7月期	4,098	2,313	55.4

(参考) 自己資本 2024年7月期第3四半期 2,468百万円 2023年7月期 2,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年7月期	—	0.00	—		
2024年7月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年7月期の連結業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,289	5.1	342	△21.1	333	△16.0	186	△8.7	13.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期3Q	14,171,700株	2023年7月期	14,171,700株
② 期末自己株式数	2024年7月期3Q	68株	2023年7月期	68株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期3Q	14,171,632株	2023年7月期3Q	14,134,203株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信（添付資料） 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「あらゆる価値を解放し、ココロ震える体験を世界に。」というグループパーパスのもと、サーバープラットフォーム事業や国内・海外向けマンガサービスの開発・運営、マンガ・Webtoonのコンテンツ制作等を行っております。その中で培ったサーバーインフラ技術、データ処理技術及びコンテンツ処理技術等を強みとして、事業規模を拡大してまいりました。

当社グループの主な事業領域である情報通信産業は、総務省発行の「令和5年版情報通信白書」によると、2021年時点で名目GDP52.7兆円となっており、全産業の9.7%を占めております。

当社グループが注力する電子書籍市場につきまして、2022年度の市場規模は6,026億円と推計され、2021年度の5,510億円から516億円(9.4%)増加しております。日本の電子出版市場は2022年度以降も拡大基調で、2027年度には8,000億円程度になると予測されております(インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告2023」)。

このような経営環境の中、当社グループは、リカーリングサービス及び初期開発・保守開発サービスにおいて、既存サービスの収益力拡大及び新規サービスのリリースに注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,436,128千円(前年同期比104.4%)、営業利益241,426千円(前年同期比67.0%)、経常利益259,812千円(前年同期比80.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益191,689千円(前年同期比143.3%)となりました。

なお、当社グループはインターネットサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービス別の状況は、次のとおりであります。

(リカーリングサービス)

「リカーリングサービス」は、レベニューシェア収益及び月額固定収益(サブスクリプション)で構成されております。

当第3四半期連結累計期間においては、昨年のリリースに伴う翻訳売上が落ち着いた一方で、地震予測AIサービス「ゆれしる」やインハウスによる広告運用収益、昨年度リリースをしたサービスの月額固定収益などが順調に伸びました。

この結果、リカーリングサービスの売上高は2,187,744千円(前年同期比105.5%)となりました。

(初期開発・保守開発サービス)

「初期開発・保守開発サービス」は、リカーリングサービス案件獲得のための受託開発を提供するサービスです。取引先の新規サービス立ち上げ時、既存サーバーからの乗り換え時に、当社がその後のサービス保守運用も見据えたサーバープラットフォームやアプリケーション等をワンストップで提供します。

当第3四半期連結累計期間においては、海外向けマンガアプリを含む複数のサービスを開発いたしました。

この結果、初期開発・保守開発サービスの売上高は248,383千円(前年同期比95.2%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は4,171,717千円となり、前連結会計年度末と比較して72,819千円の増加となりました。

その主な要因は、その他流動資産の増加163,466千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,592,125千円となり、前連結会計年度末と比較して193,013千円の減少となりました。

その主な要因は、その他流動負債の減少167,035千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,579,592千円となり、前連結会計年度末と比較して265,832千円の増加となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴い利益剰余金が191,689千円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の連結業績予想につきましては、2023年9月14日に公表した連結業績予想の数値に変更はありません。今後、通期の連結業績予想に修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,756,004	1,484,313
売掛金及び契約資産	799,396	636,005
貯蔵品	622	—
その他	444,812	608,279
貸倒引当金	△1,686	△1,295
流動資産合計	2,999,149	2,727,303
固定資産		
有形固定資産	136,617	147,886
無形固定資産		
のれん	240,731	377,989
その他	39,335	40,662
無形固定資産合計	280,067	418,651
投資その他の資産		
投資有価証券	524,077	697,875
その他	158,447	179,172
投資その他の資産合計	682,525	877,048
固定資産合計	1,099,210	1,443,586
繰延資産	538	827
資産合計	4,098,898	4,171,717
負債の部		
流動負債		
未払費用	561,625	472,083
1年内返済予定の長期借入金	44,040	44,040
未払法人税等	117,282	78,768
賞与引当金	—	20,751
受注損失引当金	4,666	—
その他	416,863	249,828
流動負債合計	1,144,478	865,471
固定負債		
長期借入金	640,660	707,630
その他	—	19,024
固定負債合計	640,660	726,654
負債合計	1,785,138	1,592,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,054	477,054
資本剰余金	368,957	368,957
利益剰余金	1,400,779	1,592,468
自己株式	△135	△135
株主資本合計	2,246,655	2,438,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22	90
為替換算調整勘定	22,660	29,758
その他の包括利益累計額合計	22,638	29,849
新株予約権	420	420
非支配株主持分	44,045	110,977
純資産合計	2,313,759	2,579,592
負債純資産合計	4,098,898	4,171,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
売上高	2,333,966	2,436,128
売上原価	1,052,024	951,060
売上総利益	1,281,941	1,485,067
販売費及び一般管理費	921,412	1,243,641
営業利益	360,529	241,426
営業外収益		
受取利息	124	115
持分法による投資利益	—	7,507
助成金収入	9,799	13,895
その他	2,113	5,601
営業外収益合計	12,036	27,119
営業外費用		
支払利息	2,815	3,477
為替差損	2,607	—
持分法による投資損失	31,280	—
暗号資産評価損	13,793	4,808
その他	244	447
営業外費用合計	50,740	8,733
経常利益	321,825	259,812
特別利益		
投資有価証券売却益	—	75,675
補助金収入	5,960	—
特別利益合計	5,960	75,675
特別損失		
固定資産除却損	1,653	—
固定資産圧縮損	4,276	—
投資有価証券評価損	41,645	—
段階取得に係る差損	29,501	—
特別損失合計	77,076	—
税金等調整前四半期純利益	250,709	335,487
法人税等	120,493	134,659
四半期純利益	130,216	200,828
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,545	9,138
親会社株主に帰属する四半期純利益	133,761	191,689

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年8月1日 至 2023年4月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年8月1日 至 2024年4月30日）
四半期純利益	130,216	200,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	226
為替換算調整勘定	△1,075	7,097
その他の包括利益合計	△1,075	7,324
四半期包括利益	129,140	208,152
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,686	198,901
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,545	9,251

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結の範囲又は持分法の適用範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、株式会社Link-U Technologiesの株式を設立により取得したことにより連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間より、株式会社Link-U Marketingの株式を設立により取得したことにより連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間より、株式会社Romanzの株式を新たに取得したことにより連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社ビューンの株式を取得したことにより持分法適用の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、インターネットサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

取得による企業結合

当社は、2024年5月23日開催の取締役会において、持分法適用関連会社である株式会社ビューン（以下「ビューン」）の株式を追加取得し、連結子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2024年5月31日付にて株式を取得いたしました。その概要は次のとおりであります。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ビューン

事業の内容 インターネットを利用したコンテンツ配信サービス等

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、2023年8月に雑誌の読み放題サービスを日本で初めて事業化したビューンの株式を49%取得し持分法適用会社といたしました。同社においては、法人向け電子書籍サービスに強みを持ち、「ビューン読み放題スポット」、「ビューン読み放題タブレット」におきまして導入店舗数が全国で6,000店舗を突破しております。また「ビューン読み放題マンション」におきましては導入戸数が全国で13万戸突破しております。

この度、ビューンの株式17%を追加取得することで当社の連結子会社とし、当社の持つサーバープラットフォームやアプリケーションにおける技術開発力の提供を強化いたします。これによって、ビューンサービスの更なる利便性の向上や、コストダウンに寄与いたします。また、自社プロダクトで培ったマーケティングノウハウをビューンサービスに提供し、逆にビューンの持つ法人営業の強みを当社に取込んで両社の販売力を強化いたします。両社の強みを相互補完することで、グループ会社としての企業価値の向上が可能となると判断しております。

(3) 企業結合日

2024年5月31日（株式取得日）

2024年5月1日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

合併直前に所有していた議決権比率 49%

企業結合日に追加取得した議決権比率 17%

取得後の議決権比率 66%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年5月1日をみなし取得日としているため、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

当事者間の契約に基づき非公表とさせていただきますが、第三者による株式価値評価を実施し、この結果を参考に公正な価額で取得しております。

4. 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザー費用 4,250千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

6. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内容

現時点では確定しておりません。